

フードロスに
ご協力ください!

6月分

福祉配付会&相談会

フードロス対策として、5・6月に各地域で飲食料の無料配付を行います。マイバックをお持ちいただき、捨てられてしまう食料の消費にぜひご協力をお願いします。

また、当日会場には箱根町社会福祉協議会の福祉専門職員がいますので、気軽にお声かけください。

日 時	会 場
6月20日(火) 10:00~11:00	社会教育センター
〃 15:30~16:30	山崎集会所
6月22日(木) 10:00~11:00	仙石原文化センター
6月27日(火) 10:00~11:00	宮城野公民館

- 配付会については品物がなくなり次第終了します。
- マイバックをお持ちください。袋のご用意はありません。
- 会場からの運搬はご自身でお願いします。
- フードロス対策の趣旨をご理解いただき、賞味期限等は自己責任となりますのでご承知おきください。



配付例 (実際と変更の場合あり)

新型コロナウイルス感染症が落ち着いた影響で発生した過剰飲食料を無償で提供いただきました。

問い合わせ先
箱根町社会福祉協議会 山口
電話 0460-85-9000



社協

はこね

編集・発行

社会福祉法人 箱根町社会福祉協議会

〒250-0311 箱根町湯本855

電話 0460-85-9000

FAX 0460-85-6888

e-mail hakosha-vc@poem.ocn.ne.jp

ホームページURL <https://hakone-shakyo.jp/>

令和5年度 事業計画を紹介します!!

法人運営事業

事業概要

社会福祉協議会の目的である「地域福祉の推進」のため、事務局により法人の運営を行う事業です。その他、実施するサービスの向上に関する取り組みや関係団体との福祉のネットワーク作りのための連絡調整などを行います。

今年度目標

住民の皆様が満足していただけるよう質の高いサービスを提供しながら、透明性の高い法人運営を行います。今年度は、新たな役員のもと、職員と住民の皆さまという関係を超えて、同じ地域で活躍する一人の人間になれるよう、職員一同取り組んでいきます！いつでもふらっと立ち寄れる事務所です、お茶を用意してお待ちしています😊



調査研究事業

事業概要

地域のニーズに合った福祉活動を行うために、様々な地域に出向いたり、関係機関と連携しながら、箱根町の福祉の調査・研究を行う事業です。

今年度目標

地区担当（地域の相談ステーション「もつともつ」）による活動がさらに進展するよう、今年度は、各地区の課題や成果を共有し、すべての職員が「箱根町の福祉」について共に学び共に理解し、地区担当の相談窓口としての資質の向上、能力の育成を図ることが目標です！社協職員全体勉強会「きらり会」を通じて、職員の能力育成を図ります。



企画・広報事業

事業概要

- ホームページや広報紙で、福祉に関する情報を発信します！
- ①機関誌の発行
年3回（2月・6月・10月）、「社協はこね」を発行し、福祉の情報を発信します。
- ②ホームページ
ホームページなどのSNSを活用して、福祉に関する情報を発信します。
- ③社会福祉大会の開催
福祉功労者の顕彰式典を開催し、社会福祉に尽力された方々の功績を讃え、福祉の普及を図るため、社会福祉大会を開催します。

今年度目標

- ①ホームページなどで最新の情報を発信します！
- ②「今」の情報が皆様に伝わるホームページを目指します！
- ③福祉の普及が図れるよう、皆様に興味を持っていただけるような企画を立て、福祉大会を開催します！



部会・委員会事業

事業概要

- ボランティア活動に関する研修会や、講座や寄託金品の配分など、ボランティア活動の推進に関わる事業を行っているボランティアセンターの適正な運営のために、ボランティアセンター運営委員会を開催しています。
- 委員会はボランティア活動をおこなっている住民の方々により構成されており、箱根に必要な「ボランティア活動」「支えあいの活動」について意見交換も行われています。

今年度目標

- 委員会で頂いたご意見を活かし、町内に必要なボランティア育成の方向性を考えます。
- また、コロナ禍での新しい生活様式を取り入れたボランティア活動やセンターの運営方法を考えていきます。



福祉総合相談事業

事業概要

「地域共生社会」の実現に向けて、様々な福祉に関する相談を一括して対応できる「福祉に関する相談のワンストップサービス」を目指しております。



きめ細かい相談支援を心がけ、どのような相談でも「困ったら社協」という意識を住民の皆さまに持ってもらい、解決に向け寄り添った支援を行っていきけるよう取り組んで参ります。

今年度目標

引き続き重点項目として、5地域毎のアウトリーチ型の相談窓口である「もつともつ」の活動を積極的にいき、担当制による継続した「伴走型支援」を継続していきます。

とくにここ数年、困窮・児童に関する相談が増えています。分野や制度にとらわれない複合的な支援を続けます。

今年度は、改めて「地域を知る」ことが目標です！地域行事へ積極的に参加し、顔の見える関係づくりをより行っていきます！地区担当を見かけたら、ぜひお声掛けください😊

ボランティアセンター活動事業

事業概要

ボランティアセンターではボランティア活動をしたい人、ボランティアをしてほしい人のマッチングを行ったり、ボランティア育成の為の各種講座、ボランティア活動推進の為の事業や、福祉教育、災害が起きた際速やかに対応ができるよう、災害ボランティアセンターの設置運営訓練や備品の管理、職員研修等を行っています。



その他にも、ボランティアグループの活動費助成・支援や寄付金、寄付物品の配分等も行っています。

今年度目標

昨年度は初めて動画配信という新しい形での福祉教育に取り組みました。

今年度も、コロナ禍での新生活に合わせた方法で、様々な事業が実施できるような方法を考え取り組んでいきたいと思います。

地域福祉推進事業

事業概要

社会福祉協議会の事業の中核である地域福祉推進事業では、箱根町の住民や地域に必要な事業を実施しています。

主に町内サロンへの助言、助成、情報提供、遊具の貸し出し、地区社会福祉協議会への助成、活動の支援等を行っています。



住民の方々主体の福祉活動の実現に向けて、お手伝いをしています。

今年度目標

生活支援コーディネーターや、もつともつ（社協地区担当）と連携し、福祉課題の把握や地域の資源とつながることで、箱根町が様々な人に暮らしやすい地域になるよう活動していきます。

共同募金配分事業

事業概要

共同募金配分金を主な財源とし、①子育て世帯や児童を対象とした事業（児童福祉事業）・②敬老祝いの贈呈など高齢者の方を支援する事業（高齢者福祉事業）・③障がいのある方やその家族を支援する事業（障害者福祉事業）・④災害に罹災した世帯の支援や生活にご負担のある世帯を支援する事業（援護事業）を実施します。また、年末慰問金配分事業として、町内の対象世帯へ年末慰問金を配分します。



今年度目標

「はらぺこ救助隊」、「つながり応援隊」、「はっぴいとらんぼ」、「クリスマスコンサート」などの事業を通じて、皆さんとの繋がりを今後も大切にしながら、事業が継続できるようにしていきます。また皆さんのお役に立てるような企画を立案します。たくさんの方に知って頂き、参加して頂けるようにHPなどに掲載し周知します。

日常生活自立支援事業

事業概要

判断能力が不十分の方を対象として、福祉サービスを利用したいが手続きの仕方が分からない、銀行に行きたいけど手続きが分からず不安など、生活の困りごとを解消するため、以下のことをお手伝いし、安心して生活できるようサポートする事業です。

- ①福祉サービス利用援助
- ②日常的金銭管理サービス
- ③書類等預かりサービス



今年度目標

皆さんに事業を知って頂くために広報します！利用者の方が安心して地域で生活を続けていけるようになるための事業として適正な運営を行います。

資金貸付事業

事業概要

神奈川県社会福祉協議会が実施主体となる生活福祉資金の貸付と、本会独自の小口資金貸付制度であるたすけあい資金の貸付を行うことにより、生活に困っている世帯の自立を支援します。

今年度目標

- ①相談者の方が安心して相談できる環境づくりを心がけます。
- ②相談者の相談を多面的に受けることができるよう他機関と連携し支援します。また、連携できる関係機関を増やします。
- ③最新の情報の周知が行えるようHPなどを活用し広報します。



地域活動支援センターレインボー

事業概要

地域活動支援センターレインボーは障がいのある方々が可愛い動物の刺し子雑巾や手芸を手作りして販売したり、四季折々の景色を楽しむための外出行事なども実施しています。

またレクリエーションとしてゲームや歌、簡単なお菓子作りなどの活動を通して地域の中で豊かに生活するための機会を提供しています。

今年度目標

皆さんから頂いたタオル、布、服などを利用して新たな手作りの製品を制作して販売します。

また、今年度も新たな活動を通して地域の方との交流の場を増やしていきます。



生活支援コーディネーター

事業概要

生活支援コーディネーターは別名で「地域支えあい推進委員」とも呼ばれています。

昔は当たり前が多かったご近所同士の気配り合いも、世帯構成が変化し少子化が進む中、顔の見える関係性も気薄化していますが、身近な所で、支え合いがある事も見えてきています。地域資源を、上手に活用しながら、ご近所の方や友人との情報交換ができ「困った時はお互い様」の気持ちが再び広まっていくように情報を収集し、地域の方々と共に笑い声が響く町づくりを、目指していきます。

今年度目標

高齢者の社会参加の促進
地域の特性を活かした、支え合い活動を広げていくために、地域住民・各種団体・町役場の強みを生かしながら、連携・協力して誰もが安心して暮らせる箱根町を目指していきます。



居宅支援事業(ケアマネジャー)

事業概要

年を重ねても自宅の生活を続けられるように、介護保険サービスを上手に利用しながら毎日機嫌よく過ごすためのお手伝いをさせていただきます。

今年度目標

箱根町は介護サービスが少ないですが、近隣の方々とのつながりも活かしつつ、自宅で過ごせるためのお手伝いができることが目標です。



訪問介護 (ホームヘルパー)

事業概要

訪問介護(ホームヘルパー)はご利用者が住み慣れた自宅で安心して生活できるように、自立支援を目的とし、ご利用者が困難な部分の身の回りのお手伝いや不安な部分のサポートを行っています。

★主な提供サービス

- ・【身体介護】入浴、排せつ、食事などの直接ご利用者の身体に関わる支援や自立支援に向けた見守りの支援。
- ・【生活援助】掃除、洗濯、調理、買い物代行などの生活に必要な家事の支援。

ホームヘルパーは、介護福祉士や介護職員初任者研修などの介護の資格を有してご利用者の自宅に訪問し、安心して支援を受けて頂けるように努めております。

今年度目標

慣れ親しんだ自宅、地域で安心して生活して頂けるようにお手伝いをしていきます。

ホームヘルパーとして限りある時間内での支援になりますが、ご利用者の心に寄り添えるように訪問した際のコミュニケーションも大切にしながら、ご利用者様一人一人が笑顔で不安なく楽しい日々が過ごせるよう心がけていきます。



基金運営事業

事業概要

住民の皆さまや企業の皆さまからいただくご寄付や、設置型の寄付金箱（愛の小箱）などで集まった寄付金を、民間社会福祉事業の振興と地域福祉活動の増進を図るため社会福祉基金として運用を行う事業です。

今年度目標

地域福祉活動の増進を図るため、引き続き社会福祉金の運用及び積み立てを継続します。



通所介護（デイサービス）

事業概要

箱根町在住の介護認定を受けた方へ、通所介護を提供します。体操や、入浴、レクリエーションを「一人ひとりが主役になれる場所」をモットーに、楽しみながら実施できるよう心がけています。

定員：1日10名

実施時間：午前10時15分～午後3時30分

場所：社会福祉協議会内（旧湯本中学校）

今年度目標

朝、来所された時よりも、帰る時の方が元気になっている！と言っていただけでよう楽しく、心地よく過ごせる場所を目指しています。

利用者様の気持ちに寄り添い「やってみたい」「食べてみたい」が叶うよう、一人ひとりの希望を聞き、レクリエーションに取り入れていきたいです。



地域包括支援センター事業

事業概要

箱根町地域包括支援センターは、箱根町から委託を受け、社会福祉協議会が運営しております。地域の皆さんが安心して暮らせるために、介護・医療・福祉等、高齢者の相談窓口になっています。

どのようなことでも結構ですので、お気軽にお問い合わせください。

今年度目標

- ・地域の方々とともに、地域を支える力になることを目指します。
- ・幅広い社会資源の中から、その方らしい生き方の提案ができるようにします。
- ・高齢者が自分らしさを発揮できるような支援を行います。
- ・様々な職種と協力して業務を行います。



令和5年度 予算

●収入の部 (単位：円)

科目	予算額
会費収入	1,930,000
寄付金収入	400,000
経常経費補助金収入	28,320,000
受託金収入	983,000
貸付事業収入	240,000
事業収入	12,000
介護保険事業収入	76,864,000
障害福祉サービス等事業収入	9,665,000
受取利息配当金収入	3,000
その他の収入	10,000
その他の活動による収入	362,000
収入合計	118,789,000

●支出の部 (単位：円)

科目	予算額
人件費支出	96,879,000
事業費支出	4,885,000
事務費支出	15,040,000
貸付事業支出	240,000
共同募金配分金事業費	910,000
助成金支出	1,186,000
負担金支出	35,000
その他の支出	31,000
基金積立資産支出	402,000
積立資産支出	969,000
その他の活動による支出	3,905,000
予備費支出	500,000
支出合計	124,982,000
当期資金収支差額合計	▲6,193,000

～感染症の流行後、生活困窮等の相談の増加や、新たなつながり・支えあいの重要性がますます高まっています。皆さまからの会費や寄付等、貴重な財源を有効的に活用できるよう努めてまいりますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます～

「愛の小箱」へのご協力ありがとうございます。

箱根町社会福祉協議会では、「愛の小箱」という募金箱を町内の商店や旅館、ホテルに設置させていただいております。募金箱に寄せられた寄託金は、社会福祉協議会で行っている、ボランティア育成や障がい福祉への理解促進、小・中学校での福祉教育など、箱根町の地域福祉に活用いたします。

設置にご協力いただいております皆様には、ご理解とご支援をいただき、感謝申し上げます。

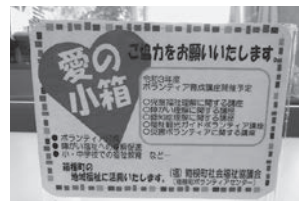
○設置先 (敬称略)

箱根ドーラハウス美術館
環境センター
港区保養施設大平台みなと荘
(有)丸喜屋
姫之湯
箱根強羅温泉翠光館
箱根強羅郵便局
宗教法人東方之光箱根事務所
老人福祉センターやまなみ荘
(株)エムオーエー商事箱根店
箱根宮ノ下郵便局
社会教育センター
富士屋ホテル仙石ゴルフコース
箱根カントリー倶楽部
山崎製パン(株)箱根研修所
仙石原郵便局
仙石原出張所
駿台学園箱根セミナーハウス紅雲荘
オスロ
箱根彫刻の森美術館
中華料理 香華
箱根小涌園ユネッサン

箱根出張所
箱根関所
箱根ホテル
箱根町郵便局
畑宿寄木会館
金指寄せ木工芸館
金指ウッドクラフト
浜松屋
甘酒茶屋
東急ハーヴェストクラブ箱根明神平
(株)ダイフクヴィラ箱根
箱根宮城野郵便局
さがみ信用金庫宮城野支店
宮城野出張所
電設家具健保組合保養所みやぎの
焼肉レストランみょうじん
(株)ワールドヤマダ
さくら館
宮城野温泉会館
温泉出張所
好楽荘本館
富士屋ホテル

おか本
湯本富士屋ホテル
郷土資料館
箱根湯本郵便局
さがみ信用金庫湯本支店
画廊喫茶ユトリロ
湯遊び処箱根の湯
ちく膳
あうら橋
星崎商店
竹いち
菊川商店
吉田本店
まるきや
村上二郎商店
スコット
喜之助
山そば
加満幸
みつぎ
ティムニー
喫茶浅野

はこね中村家
はこね
マイアミ
はこね和菓子菜の花
箱根・ルツカの森
焼肉スエヒロ
湯葉井直吉
木のびーHouse
日清亭
奥箱根観光株式会社くろたまご館
あやばん
芦ノ湖テラス
太原
BooTea
大正
ラッキイズカフェ



令和4年度 募金合計額 320,319円 ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

～ご寄附の紹介～

住民の皆様よりいただいたご寄附を紹介いたします。

いただいたご寄附については、ご趣旨を体しまして有効かつ適切に使用させていただきます。ご協力に心よりお礼申し上げます。

令和4年12月～令和5年4月

箱根暁庵 株式会社 様	30,000円
箱根町歩く会 様	5,000円
野黒 大 様	5,000円
介護タクシーこまわり 様	10,551円
瀬戸 正男 様・光子 様	衣類 30枚・靴 4足・介護用品
金指 小枝子 様	5,000円
匿名 1件	5,000円

職員紹介

●小川 拓哉

令和5年4月から事務局長として働いています。だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりをみなさんと一緒に考え、行動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



●山口由喜子 (事業係)

町役場の福祉課から出向し、令和5年4月から事業係でお仕事させていただいております。



地域の皆様と関わっていくなかで、地域のことをたくさん知れたらと思っています。よろしくお願いいたします。

社会福祉協議会から 会員(会費)募集のお願い



社会福祉協議会とは

「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目標に地域福祉を推進する民間の非営利団体です。

町の福祉における「ご不便」や「お困り事」を解消していけるよう、住民の皆さんと“共に考え”、“共に取り組んでいく”機関です。

社会福祉協議会では、住民の皆さまの福祉ニーズが充足されるよう、自治会(住民)、ボランティア、民生委員、行政などの機関と協力して、会員の皆さまと共に様々な事業を展開しています。**感染症の流行後、地域でのささえあい：たすけあいの福祉活動の重要性が改めて認識され、会費を活用し様々な福祉活動が始まりました。**
今年度も地域福祉の充実に邁進してまいりますので、皆さまのあたたかいご理解とご協力をもちまして、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

皆さまの会費はどのように活用させていただいています。(事業の一例)

ボランティア育成 各種の講座や研修会などを企画・開催して、ボランティアを育成しています。 	地域福祉活動の推進 サロン活動助成や、地区社協等の活動助成、コミュニティバス等住民同士の支え合い活動など、地域福祉活動の推進を図ります。 	生活困窮者の支援 新型コロナウイルス感染症に伴う収入減少や福祉に関する必要な資金などの貸し付けや食糧の支援をします。
福祉活動の普及・啓発 広報誌「社協はこね」を年3回発行し、広く地域福祉活動を周知しています。 	ボランティア活動の支援 町内で活躍しているボランティアの活動を支援しています。 	災害ボランティアセンター設置 災害時のボランティア受け入れのためのセンターの開設や準備を行います。

その他 ・ 社会福祉大会の開催 ・ 新規事業等に関する調査 ・ 法人運営 等
これらの事業に役立てられています。

会費の種類

一般会費：本会の趣旨目的に賛同し、目的達成のため必要な援助
 1口/個人 300円
 団体・施設・企業 5,000円

賛助会費：本会の趣旨目的に賛同し、本会の事業に要する費用を賛助
 1口/個人 1,000円
 団体・施設・企業 10,000円

お振込み口座

金融機関	支店名	口座名義	種類	口座番号
さがみ信用金庫	湯本支店			0110465
スルガ銀行	箱根支店	社会福祉法人 箱根町	普通	2043916
横浜銀行	箱根湯本支店	社会福祉協議会		5081372
かながわ西湘農業協同組合	箱根支店			0000116

自治会を通じて、またはダイレクトメールにより会員(会費)募集を行っております。
社会福祉協議会の活動は、会員の皆様の協力により支えられています。
今後とも箱根町の福祉の推進のため、ご協力よろしくお願ひします！

令和4年度会員(会費)のご紹介 ~社協は地域の皆さまの支えで運営しています~

個人・企業・団体の皆さまに会員としてご賛同いただき、お納めいただいた会費を各種福祉活動に活用しています。令和4年度にご加入いただいた皆さまをご紹介します。 ※順不同・敬称略

令和5年3月31日現在

一般会員 箱根地域自治会、宮城野地域自治会、湯本地域自治会、温泉地域自治会、仙石原地域自治会、堂畑造園工務所、湯本モータース、光設備工業、はつ花、太原、箱根石油、ヒラボウ、小林博正、菊川運送、島写真館、旭電機、中野石油、ちもと、万寿屋旅館、フィッシングショップノザキ、東京寿司、小林徳義、小林テルコ、箱根老人ホーム、村上、人力車海風屋、箱根金湯苑、富士箱根交通、箱根東垂荘、箱根湯本観光協会、ギャラリー風知草、整体協会箱根湯本指導室

賛助会員 村木豊彦、勝俣ヨシエ、関昭次郎、松本理容店、古川慎一、伊藤明彦、神静建設、箱根温泉供給、箱根瓦斯石油、仙郷楼、杉山昌夫、横浜銀行箱根湯本支店、日本クリーンサービス、早雲寺、明光苑花紋、大雄山箱根別院、小田原青年会議所、石垣照子、広和建設、恵比寿、勝俣組、箱根清掃公社、勝俣伸、和心亭豊月、田中昭二、本迹寺、むすび家、乙女屋、JAかながわ西湘箱根支店、勝俣工務店、仙石高原開発、大和莞店、上野工務店、星野、魚七、根布眞美子、足柄防災、三谷伸子、黒沢祥司、山、土屋俊彦、奥箱根観光、ふじ美容室、コボリ建設、箱根ライオンズクラブ、箱根セントラル生コン、函嶺白百合学園、武蔵野、芦ノ湖テラス、箱根美掃、西電工、箱根町観光協会、石井工務店、みのり、かつ平寿し、箱根温泉旅館ホテル協同組合、深沢電機商会、箱根神社、館野武雄、箱根リハビリテーション病院、ホテル南風荘、神奈川パークス、小田急リゾート、ファンスペース、箱根オータリークラブ、箱根建設、箱根吉田整形外科医院、箱根町宮ノ下観光協会、赤池勇、三浦組、新橋玉木屋箱根保養所、金指小枝子、稲村浩、ホテルおかだ、橋本屋、大場佐知子、村上

内 訳	一般会員		賛助会員		合 計	
個人	3,808口	1,132,800円	72口	72,000円	3,880口	1,204,800円
企業・団体	26口	130,000円	59口	590,000円	85口	720,000円
合 計	3,834口	1,262,800円	131口	662,000円	3,965口	1,924,800円

~会費ってどのようにつかわれるの?~

令和4年度箱根町社会福祉協議会では、ご協力いただいた会費は、**全額を地域福祉推進に関する事業：事務費として**次の事業に活用させていただきました。(令和4年度 総額 1,924,800円)

- ・ 広報紙発行、ホームページ運営、社会福祉大会に関する費用 594,000円
- ・ ボランティア連絡協議会に関する費用 15,000円
- ・ ボランティア活動に関する費用 83,000円
- ・ 地域福祉(サロン活動・生活支援サービス等)に関する費用 584,800円
- ・ 生活困窮等に関する資金貸付に関する費用 5,000円
- ・ 法人運営に関する事業等に関する費用 643,000円

合計 1,924,800円

ありがとうございました！



認知症サポーター養成講座



正しい知識を身に着けよう！

定期的に開催します！

【講座の内容】

- ★認知症の原因や症状の基礎知識
- ★認知症の方の気持ちや接し方
- ★認知症の方を支える活動の紹介

認知症？ もの忘れ？

予防も大事！



認知症は、誰でもなる可能性がある病気です。認知症になっても住み慣れた箱根町で生活できるよう、認知症サポーターを増やす取り組みをしています。

サポーターの証「オレンジリング」お渡しします！勝手に応援隊！チーム糸へんのみなさんが製作してくれた箱根町オリジナルのリングです。

【開催日】

- 6月30日(金) 19:00~20:30 仙石原文化センター第1会議室
- 7月28日(金) 19:00~20:30 さくら館 会議室
- 8月25日(金) 19:00~20:30 社会福祉協議会 会議室
- 9月29日(金) 19:00~20:30 さくら館 会議室

※お一人様から出張講座承ります！

参加、お待ちしています！



お問い合わせ・お申込み
箱根町地域包括支援センター
認知症地域支援推進員：平嶋
☎85-3002 お気軽にどうぞ！

キャロットカフェ 始めました！



キャロットカフェは、美味しいコーヒーを飲みながら、認知症についての悩み相談、情報交換をする場です。

福祉・介護の専門職も参加しますので、認知症について興味のある方、学びたい方、誰かとおはなしたい方、どんな方でも気軽に参加してください。

- 【日 時】毎月第3金曜日/午後2時から3時30分
- 【場 所】箱根リラック森 (二ノ平1297-370)
- 【参加費】1人500円 (コーヒー・お菓子代)

【開催日】

- 6月16日(金) 7月21日(金)
- 8月18日(金) 9月15日(金)

お問い合わせ先
箱根町地域包括支援センター
認知症地域支援推進員：平嶋
☎85-3002 お気軽にどうぞ！



シニアスマホ教室

介護予防に！

興味はあるけど使いこなせるか心配、持っただけでも良く分からない、いまさら人に聞けない...と思っている方
実際にスマホを触って解決しましょう！
スマホの基本からQR決済についてまで、楽しく分かりやすく体験できます。 ※スマートフォンは1人1台貸出します

基本とQR決済

- 【開催日】6月7日(水) 基本とQR決済 10:00~12:00
- 6月13日(火) 基本とQR決済 14:00~16:00

※上記時間内に休憩・質疑応答を含みます。

【場 所】箱根町立郷土資料館学習室

講 師：ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー
持ち物：筆記用具

※講座中は全員貸出し用スマホでの受講となります。
※スマホをお持ちの方は充電をしてご持参ください。

6月以降も「入門編」「基礎編」「LINE編」など各地区でスマホ教室の開催を予定しておりますので是非ご参加下さい。



※共催：箱根町企画観光部企画課 デジタル推進係

申し込み・お問い合わせ先
箱根町地域包括支援センター ☎85-3002 お気軽にどうぞ！

デイサービス通信 ~たくさんのご寄付をありがとうございました~

デイサービスでは、創造性の向上や手指の運動のために、毎月工作のレクリエーションを行っています。以前の広報誌で、自宅に眠る文房具や布のご寄付をお願いしたところ、たくさんの色鉛筆や端切れをいただきました。その品物が、工作レクでの作品作りに大いに役立っています。ご協力くださった皆さま、本当にありがとうございました。

ご高齢者やご家族はもちろん、サロンを開催している方のご見学も受け付けています。

デイのレクリエーションに関心のある方は、ぜひ足をお運びください。(見学を希望する方は、事前にご連絡をお願いいたします。)



端切れのフェルトがコースターに、浴衣がこいのぼり飾りに変身しました！



色紙や折り紙なども、季節の作品作りに大活躍しました。

インタビュー 『ラジオ体操』(箱根地区)

毎週水曜日に箱根地区の方が集まりラジオ体操を行っています。集合時間が近づくと、参加者は、さりげなく集まり、さりげなく声を掛け合い、世間話を始めます。老人クラブ会長さんの「始めるよ！」の一声で、それぞれが好きな場所でラジカセから流れる音楽に合わせて体操が始まり「いち、に、さん、しー！」と大きな掛け声が響きます。



ラジオ体操前の世間話の様子

~参加者からの声~

- 「みんなの声掛けで活動が始まった」
- 「毎週楽しみにしている」
- 「やり始めたら楽しい」
- 「一日がはじまる感じがする」
- 「散歩にちょうどよく自身の健康につながる」

外に出るきっかけづくりとして昨年10月から始めたラジオ体操ですが、祝日には子どもたちも参加し、皆さんのふれあいの場となっています。地域みんなが一緒になってラジオ体操ができたらいいなとみなさんと話していました。



ラジオ体操の様子



ラジオ体操後には有志でグランドゴルフを行っています



集まった地域のみなさん

《箱根地区ラジオ体操》

日時 毎週水曜日 朝9時30分から
 場所 芦川町広場 (箱根279-1)
 参加 誰でも可
 主催 箱根長寿会 (老人クラブ)
 ※雨天時は中止する場合があります。

みんなで楽しむ!

芦／湖サロン

芦／湖サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。あなたも参加して一緒に芦／湖サロンを楽しい会にしませんか？
気軽に集まれる場所が近所にあるっていいですね。



日 時：令和5年6月21日（水） 11：00～

場 所：元箱根集会所集合

内 容：①災害時の食の備え教室～災害に困らないために～
テーマ：できることから始めよう！ローリングストック法を活用しよう
※ 町が開催する教室に参加します。

②みんなでカレーライスを食べましょう！！

参加費：お茶代として一人100円（内容により変更するときがあります）



お問い合わせ：箱根町社会福祉協議会 担当：山口

電話番号 → 85-9000

誰でも気軽にどうぞ(*^^*)!

きんとき寄せ木 6月 June サロン

サロンは地域の人たちの参加で作り上げる、みんなが気軽に集まれる場所です。あなたも参加して一緒にサロンを楽しい会にしませんか？

参加者募集中です！誰でもお気軽にお越しください♪



日 時：令和5年6月27日（火）14時～16時

場 所：仙石原いこいの家

内 容：グラウンドゴルフ（雨天時はアートクラフト）

参加費：お茶菓子代として一人100円

※飲み物持参（コロナ対策のため）

お問い合わせ：仙石原寄せ木の会

伊東元子（86-3766）または

高橋重子（84-6066）



りずむ No.2

令和5年5月29日

箱根町立湯本幼児学園



箱根一貫教育の合言葉

『箱根を愛し かしこく やさしく たくましく』

湯本幼児学園個性化目標

『異年齢保育を生かした園づくり』



今年の湯本幼児学園の年長組の名前は『だいすき組』に決定しました！
友達が好き！お家の方が好き！先生が好き！地域の方が好き！みんな大好き！
大好きがたくさんだと幸せになれる、今年1年幸せな1年になりますようにという子どもたちの願いが込められています。5歳児と侮れず真剣にしっかり話し合い、考え抜いたクラスの名前！子どもの思いを大切に幸せな一年となりますよう大人も愛着をもって呼んでいきましょう！

園庭を通り抜ける爽やかな風が、子ども達の笑い声と融合して、ゆったりと温かい雰囲気が漂っています。新入園児も慣れ、遊びたいことにじっくり関わっている様子が見えます。

令和5年度の園内研究は、『自然物を取り入れた遊びを通して探求心や好奇心を育む』をテーマに自然事象を知り、自然物を使った遊びから子どもの興味や関心、遊びの広がり等を読み取り、育ちにつながる関わりをしていきたいと考えています。そこで、テーブル、すり鉢、すりこぎ棒、ざる、R1の容器など素材を用意すると共に経験してほしいことを意識して、園庭の環境を見直しました。今後、遊びの展開や季節に応じて、変えていく予定です。

子どもは『センスオブワンダー＝神秘さや不思議さに目を見張る感性』が備わっています。美しいものを美しいと感じる心、新しいものや未知なものに触れた時の感激、思いやり、憐れみ、賛嘆や愛情など様々な感情が芽生えるとそれについてもっと知りたいと思うようになります。子どもが喜び、感激、神秘などを子どもと共に再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が少なくともひとりそばにいる必要があります。(レイチェル・カーソン作 センスオブワンダーより)

オケラ、ダンゴ虫、ミミズ…動く生き物に興味・関心、嬉しい、不思議など色々な思い⇒キラキラして見るまなざし⇒動きや色、においなど5感を通して興味津々で探求する。そんな様子が毎日見られています。幼児学園での日常に『センスオブワンダー』を刺激するワクワク感あふれる出来事が多々あり、子ども達はその感性を磨いています。私たちはそれに共感し、一緒にワクワクできる存在でありたいと思います。



オケラを
みつけた！

0.1歳児クラス便りより
保育者が子ども達を温かく捉え、受容することで安心して伸び伸びと過ごし、成長している様子が分かります。

なんかない地いいな



子どもって本当に不思議！そして可愛い♡♡♡
まだ言葉も話せずこんなに小さいのに、そこに言葉はなくても何となく通じ合う空間があります。その空間を通して、心の中では会話をしているのかな？
思わず心の声が聞こえてきそうです。同じ場にいてそれぞれ違う思いで遊んでいても、近くに友達がいると何となく通じ合っているような感覚、なんかない地いいな、うれしいなと思えることが、今、この時期にはとても大切なことです。お家の方にはどんな声が聞こえてきますか？

5/23 3歳児親子ハイキング

あいにくの雨で保育室での制作やホールでの活動になりましたが、日常生活を保護者の皆さんに見ていただく機会となり、安心されたことでしょう。朝の活動では、名前を読んで元気にお返事が出来ていましたね。歌や手遊びも楽しそうでした。手形を取ったり、思い思いのジュースを作ったり集中して取り組んでいました。また、ホールでは、大好きな「おおかみさん」の遊びや親子のスキンシップを取り入れたふれあい遊び、ダンスなど体を動かして遊びました。



5/16 5歳児親子ハイキング

青空の下、木漏れ日が降り注ぐ中を塔ノ沢駅から阿弥陀寺へ！急坂を登りきり、後ろを振り返ると「わぁきれい」「こんなに登ったんだ」「気持ちいい」と新緑の美しさと爽快感を味わい感嘆の声！「湯本にこんなところがあったなんて」と新たな発見！その後、かっぱ天国で足湯に浸かって疲れを取り、河川敷でお弁当を食べました。改めて湯本の良さを発見し、挑戦と癒しのハイキングでした。



5/18 4歳児親子ハイキング

今年一番の暑さでしたが、水分補給をしながら、湯場から早川浴いを通り、河川敷へ。ウォークラリーをしながらポイントでシールを貼り進みます。人力車のお兄さんや地域の方に挨拶をしながら、神明町公園へ行き、日陰を探して、四つ葉探しや花いちもんめなどクラスの親子みんなで遊びました。最後は新道のトンネルをくぐり、新しい観光スポット：ROOT COへ。お弁当を食べ、保護者同士の関わりも深まったようですね！





す ま い る

箱根教育合言葉～箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく～



江戸時代、関所破りをして処刑された「お玉さん」と東海道の旅の途中で亡くなった人たちの霊を供養する法要が毎年5月23日に元箱根の興福院で行われます。箱根幼稚園の子ども達もご招待を受け、伺わせていただきました。園の近くには箱根関所やお玉が池があり、園児にとってはこのお玉さんの話を聞く機会が何度もあり、悲しい身近な出来事に「可哀そう」とつぶやき、子ども達は、「お玉ちゃん」と呼んで親しみを感じています。今年はお玉さんが亡くなられて321年になるそうです。江戸時代の出来事を知り、今元気に過ごせることに感謝の気持ちを少しでも感じてくれると嬉しく思います。法要の厳かな雰囲気を感じたり、お経の本の文字を一生懸命目で追ってみたり、手を合わせて帰ってきました。箱根幼稚園のある場所には歴史や文化が豊かで、様々な体験を通して、自分達の住む箱根を知り、愛着を深めています。地域の皆さま、いつもお声掛けありがとうございます。

自然と遊ぼう①

今年1回目の「自然と遊ぼう」もビジターセンターの筑紫さんをお招きして園庭で行われました。筑紫さんは植物や昆虫など子どもの「これ何？」に答えながら、自然とどう遊ぶかきっかけづくりをしてくれます。この日は、一人一人に双眼鏡を使わせてくださり、野鳥の観察をしました。まずは、耳を澄ませて鳥の鳴く方向を探します。すると、木々の間に鳥がいることに気がきます。双眼鏡の使い方は、初めは難しいようでしたが、少しずつ慣れていくようでした。「静かにしましょう」「集中しましょう」と言わなくても、鳥を見つけたいと思う気持ちが、自然とそういった姿につながっていました。幼児教育は、「環境を通した教育」と言われています。子ども達が思わず手を伸ばしたくなる、やってみたくなるそんな環境が大切です。この日の活動も、五感を通して子どもが自ら関わり、考え、感じ、自然の楽しさを友達と共有していました。最後は、園庭の奥にあるマムシグサについても教えてくれました。「触ると火傷したように痛くなる」ことを聞き、自然の厳しさも知りました。

1, 2, 3年生とのハイキング

5/13(土)地域の小学生と一緒に森のふれあい館に行きました。久しぶりの再会や初めての出会いに皆、笑顔を浮かべ嬉しそうでした。かねてから、森のふれあい館にある丸太に絵を描いてほしいという依頼を受けていたので、館内を見学した後、園児と小学生がペアになって描きました。小学生は優しく「何を描きたい？」と聞いてくれ、労わる様子が見られたり、園児は小学生の真似をしたり話を聞きながらとても素敵な丸太のオブジェが出来上がりました。丸太の作品は、森のふれあい館に展示してありますので、遊びに行ったときは、探してみてください！春の森林浴ウォークを想定していましたが、この日は生憎の雨。1日、館内で過ごすことになりました。みなでお菓子交換や遊べるように折り紙やカードゲームを準備してきた小学生。おかげで、楽しい時間が過ごせました。



箱根幼稚園では、様々な人との交流を大切にしています。

地域はもちろん、他園や未就園児、教育相談センターの中学生等々…。特に宮城野保育園との交流は同じ箱根の森小学校に入学する友達と関わる時間になり、毎月2回程度交流をしています。行きは箱根の森小学校のスクールバスを利用させていただきます。初めて乗った4歳児が、「トンネルは暗いから嫌だな。」と不安げな表情。「トンネルを通らないから大丈夫よ。」と励ましましたが横でその会話を聞いていた同じ4歳児の友達がフロントガラスいっぱい広がる新緑を見て「葉っぱのトンネルだから暗くないね。きれいだよ。」と言いました。大人の言葉よりもなんて素敵な声掛けでしょうか。そして、そう感じる気持ちを大事にしていきたいと思いました。宮城野保育園では、同じ年齢の友達と同じことをして共有したり、違う環境の中で自分の思いを伝えたり、我慢したりととてもいい機会になっています。次回は、宮城野保育園の友達が箱根幼稚園へ来て交流を深めます。

ポラ美術館 シン・ジャパニーズ・ ペインティング

横山大観
川端龍子
レオナルド・フジタ
杉山寧
東山魁夷
加山又造
マコトフジムラ
三瀬夏之介
谷保玲奈
吉澤舞子
野口哲哉
深堀隆介
天野喜孝
杉本博司
ほか

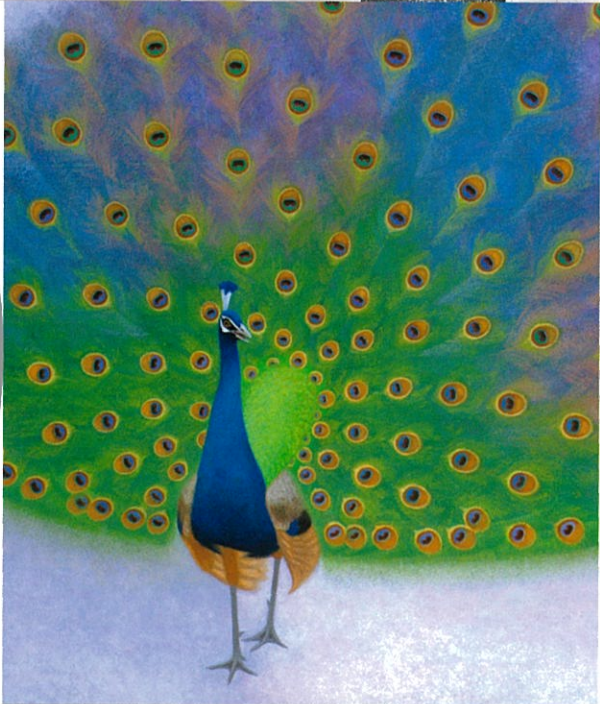
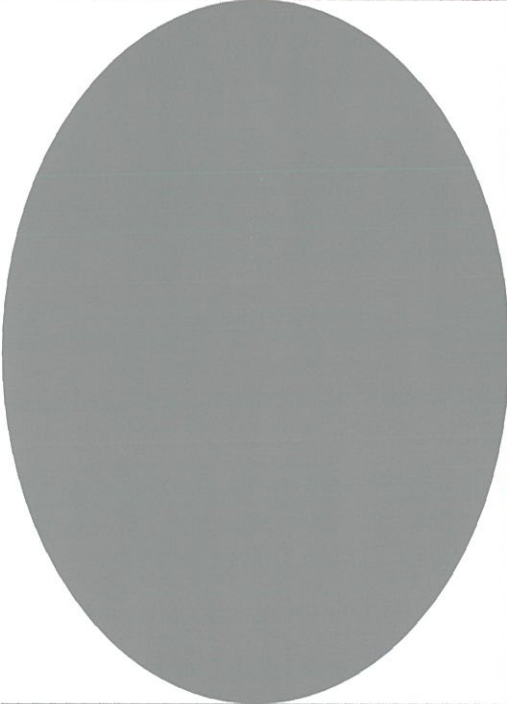
Taikan Yokoyama
Ryushi Kawabata
Léonard Foujita
Yasushi Sugiyama
Kaii Higashiyama
Matazo Kayama
Makoto Fujimura
Natsunosuke Mise
Reina Taniho
Maiko Yoshizawa
Tetsuya Noguchi
Riusuke Fukahori
Yoshitaka Amano
Hiroshi Sugimoto
and more...

会場構成
中川エリカ
建築設計事務所
Exhibition Design
Erika Nakagawa Office

上 | 三瀬夏之介(日本の絵) 2017年(平成29)
作家蔵 Natsunosuke Mise, Japanese
Painting, 2017, Collection of the Artist
© Natsunosuke Mise

中央 | 杉山寧(鷹) (部分) 1975年(昭和50)
ポーラ美術館蔵 Yasushi Sugiyama, Scent
(detail), 1975, Pola Museum of Art

下 | 杉本博司(月下紅白梅園) 2014年(平成26)
作家蔵 Hiroshi Sugimoto, Red and White
Plum Blossoms Under Moonlight, 2014,
Collection of the Artist
© Hiroshi Sugimoto/Courtesy of Gallery
Koyanagi



横山大観、杉山寧から現代の作家まで
革新の日本画

POLA MUSEUM
OF ART
POLA MUSEUM

ポーラ美術館

開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで) 全期中無休 入館料 | 大人: 1,800円 シニア割引(65歳以上): 1,600円(他の割引との併用不可) 大学・高校生: 1,300円
中学生以下: 無料 ※団体15名様以上割引 主催 | 公益財団法人ポーラ美術館 特別協力 | 東京国立近代美術館

50-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285 TEL: 0460-84-2111(代表) Pola Museum of Art Opening Hours 9:00-17:00 (last admission 16:30) Open Daily
Admission Adults: ¥1,800 Seniors (over 65): ¥1,600 University / High school students or younger: Free Organizer | Pola Museum of Art, Pola Art Foundation
in cooperation | The National Museum of Modern Art, Tokyo 1285 Kozukoyama Sengokuhara, Hakone-machi, Ashigarashimo-gun, Kanagawa 250-0631 <http://www.polamuseum.or.jp>

2023.7.15 [Sat] - 12.3 [Sun]

Shin Japanese Painting: Revolutionary Nihonga

シン・ジャパニーズ・ペインティング ● 革新の日本画

Shin Japanese Painting: Revolutionary Nihonga 横山大観、杉山寧から現代の作家まで

明治政府のお雇い外国人として来日していたアーネスト・フェノロサ (1853-1908) は、当時、日本国内で目にした絵画を総じて「Japanese Painting」と呼び、この英語を日本人通訳が「日本画」と翻訳したことから、明治以後に「日本画」という概念が社会的に定着していったとされています。

「日本画」は日本の伝統的な絵画と西洋画の接触により、新しい表現形式として確立されましたが、日本という近代国家の形成期における文化的混沌の中で画家たちは、近代とは、西洋とは、国家とは何かという不断の問いと向き合うことを余儀なくされました。第二次世界大戦後は、画壇において日本画滅亡論が唱えられましたが、近代日本画を超克し「新しい日本絵画の創造」を目指した現代日本画の担い手たちの活躍によって、「日本画」は新たな段階へと進みました。

グローバリズムが加速し、西洋と東洋という二分化がもはや意味をなさず、主題や形式、画材などが多様化する21世紀のアートシーンにおいて、現在の「日本画」にはいかなる可能性が秘められているのでしょうか。本展覧会は、近代の「日本画」を牽引した明治、大正、昭和前期の画家たちや、杉山寧をはじめとする戦後の日本画家たちの表現方法、そして現在の「日本画」とこれからの日本の絵画を追究する多様な作家たちの実践の数々にあらためて注目し、その真髄に迫るものです。

While visiting Japan as a foreign advisor hired by the Meiji government, the art historian Ernest Fenollosa (1853-1908) referred to all of the paintings he came across as "Japanese paintings." This term was translated by a Japanese interpreter as *Nihonga* (Japanese pictures), which, it has been suggested, subsequently led the *Nihonga* concept to take root in Japanese society.

In other words, after coming into contact with Western-style painting, traditional Japanese painting became established as a new form of expression known as *Nihonga*. As the genre emerged during a period of cultural chaos as Japan was formed a modern state, *Nihonga* painters were inevitably dogged with questions about what it meant to be "modern," "Western," and a "nation." Following the Second World War, *Nihonga* was in some quarters declared dead, but the work of contemporary *Nihonga* painters, who strove to create a new form of Japanese painting that would transcend modern *Nihonga* led to a new phase in the genre's history.

What is the potential for present-day *Nihonga* in this age of accelerated globalization, which has rendered meaningless the distinction between East and West, and the 21st-century art scene, which has grown increasingly diverse in terms of subject, form, and material? In this exhibition, we reexamine leading *Nihonga* figures of the Meiji, Taisho, and early Showa eras, the expressive methods of Yasushi Sugiyama and other postwar *Nihonga* painters, and the diverse practices of artists who are currently exploring the essence of the Japanese pictures of today and tomorrow.



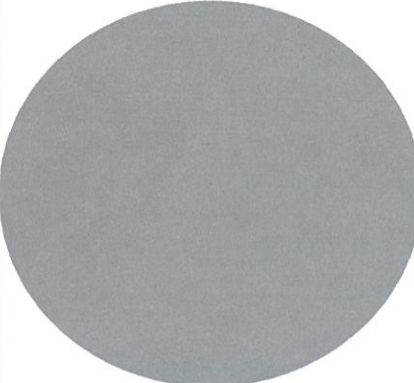
谷保玲奈(寛荷) 2020年(令和2) 高橋龍太郎コレクション蔵
Reina Taniho, Shuka, 2020, Takahashi Ryutaro Collection © Reina Taniho



横山大観(山に因む十題のうち 霊峰四趣 秋)
1940年(昭和15) ポーラ美術館蔵
Taikan Yokoyama, Mt. Fuji - Autumn, in the series of "Ten Scenes of Mt. Fuji", 1940, Pola Museum of Art



深堀隆介(方舟2)
2015年(平成27) 個人蔵
Riusuke Fukahori, The Ark 2, 2015, Private Collection © Riusuke Fukahori



杉山寧(慈悲光) 1936年(昭和11) 福田美術館蔵
Yasushi Sugiyama, Jihiko (Light of Mercy), 1936, Fukuda Art Museum

入館料 | Admission
大人1,800円 シニア割引(65歳以上)1,600円(他の割引との併用不可) 大学・高校生1,300円 中学生以下 無料
Adults: ¥1,800 Seniors (over 65): ¥1,600 University/High school students: ¥1,300
Junior high school students or younger: Free

アクセス | Access
●「小田原駅」より箱根登山線乗車。
「箱根湯本駅」乗り換えで「強羅駅」下車後、観光施設めぐりバスにて13分「ポーラ美術館」下車
●「小田原駅」「箱根湯本駅」より当館直通バス運行中
●From Gora Station (Hakone Tozan Railway), use Sightseeing Shuttle Bus and get off at Pola Museum of Art (13 minutes).
●Direct bus from Odawara Station or Hakone-Yumoto Station: See the website for more information.



関連イベント | Related Events
詳細は展覧会ウェブサイトをご覧ください。
See the exhibition website for more information.



同時開催 | Also on View
ポーラ美術館コレクション選
2023年7月12日(水)―12月3日(日)
Masterpieces of the Pola Museum of Art
Wed., July 12 - Sun., December 3, 2023

次回企画展 | Upcoming Exhibition
モダン・タイムス・イン・パリ
2023年12月16日(土)―2024年5月19日(日)
Modern Times in Paris
Sat., December 16, 2023 - Sun., May 19, 2024



山本基(たゆたう庭) (制作風景) エルンスト・バルラッハ・ハウス(ハンブルク) 2013年(平成25)
Moloi Yamamoto, Floating Garden (Working Process), Ernst Barlach Haus (Hamburg, Germany) 2013 photo: Andreas Weiss



箱根町在住・在勤・在学の方限定
ポーラ美術館「無料ご招待」
2023.7.18（火）－7.31（月）

ポーラ美術館はおかげさまをもちまして、昨年、開館20周年を迎えることができました。日頃の感謝の気持ちをこめて、上記期間限定で、箱根町に在住及び在勤、在学の皆さまのご入館を無料とさせていただきます。この機会にぜひご来館ください。
尚、中学生以下の方は、いつでも無料でご入館いただけます。

ご覧いただける展覧会
2023.7.18（火）より

シン・ジャパニーズ
ペインティング

横山大観、杉山寧から現代の作家まで

革新の日本画

学芸員によるギャラリートーク開催 「日本画ってなあに？」

日時：7月29日（土）10:00 - 10:30
集合：講堂（ミュージアムショップ隣り）
定員：30名（先着順）

今回の展覧会について学芸員が
分かりやすくご紹介します。

ご来館時に、箱根在住・在勤・在学を証明できるものを必ずご提示ください。

※免許証、保険証、社員証、学生証、名刺など

確認ができない場合は通常料金とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
箱根町在住・在勤・在学の方のみの適用とさせていただきます。
お車でご来館の場合は駐車料金がかかります。

#ポーラ美術館 #polamuseumofart #シンジャパニーズペインティング #shinjapanesepainting

出張スマホ教室のご案内



毎回ご好評いただいている【シニアスマホ教室】を今年度も各地で開催します!! 第1弾は仙石原地区での開催になります。一人でも多くの方にスマートフォンの便利さを実感していただきたいと思えます。初めて参加の方も、前回参加された方も、スマートフォンをお持ちでない方でもご参加可能です。皆様のご参加をお待ちしています。

開催日

- ①6月28日(水) 入門編...スマホを持って最初にご参加いただく教室
仙石原文化センター 時間: 13時~15時45分
- ②7月26日(水) 基本編...スマホの基本的な使い方を学べる教室
仙石原文化センター 時間: 13時~15時45分
- ③8月25日(金) LINE講座...LINEを始めたい、知りたい方向けの教室
仙石原文化センター 時間: 10時~12時45分

※ 完全予約制 各回とも先着10名

①~③は1回のみでもすべてでも参加可能です

申し込み お問い合わせ先
箱根町地域包括支援センター

☎ 85-3002 お気軽にどうぞ!

※共催: 箱根町企画観光部企画課
デジタル推進係

☆今後も各地区で順次開催予定です☆



